

申請先: 財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「公開用DB方式の統合DB製品」PF準拠確認チェックリスト

APPLIC 登録番号:

K000311-0002

★APPLICで記載

(1) 対象標準とバージョン

・プラットフォーム通信標準仕様V2.0 ・アーキテクチャ標準仕様V2.0

(2) PF準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦月日):

2008年11月25日

(b) 申請区分(新規、修正、破棄):

新規

(c) 申請者

団体名:

富士通株式会社

★識別キー項目1

団体のURL:

http://jp.fujitsu.com/

(識別キー項目3つで

APPLIC会員番号:

K000311

ユニークになるように
申請者が指定する)

(d) 製品情報

製品説明のURL:

http://jp.fujitsu.com/solutions/localgovernment/

代表製品名:

INTERCOMMUNITY21 デジタルルータ 統合DBオプション

★識別キー項目2

複数製品で構成する場合追記:

複数製品で構成する場合追記:

複数製品で構成する場合追記:

製品識別情報(バージョン等):

V2

★識別キー項目3

リリース日(予定)(西暦月日):

2008年12月25日

対応OS:

Red Hat Enterprise Linux 5.1(for x86)

製品の形態((1)型から(3)型):

(1)型

全て同一提供者

全て同一提供者

Y社製品を

統合DB製品
(サービスIF処理)
(PF通信処理)

(1)型

統合DB製品
(サービスIF処理)
PF通信製品

(2)型

統合DB製品
(サービスIF処理)

Y社PF通信製品

(3)型

前提となるPF通信製品

前提PF通信製品名:

INTERCOMMUNITY21 デジタルルータ 統合DBオプション

※1

前提PF通信製品名:

※1

※1 (2)型、(3)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。

(3) PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)

※: 下記の機能が実装された製品でなく、ソリューションによる提供場合、「前提事項や制限事項」の欄にそのことを記載すること

◎: 対応、○: 制約のあるもの(制約がある場合は備考欄に記載する) ↓

番号	準拠ルール (番号(CS-RXXXX)は、サービス基盤標準書に記載のある関連準拠ルールの番号)	必須・選択	サイト内	
			システム確認	APPLIC確認欄
1	「PF通信(PF通信機能)」製品 PF準拠確認チェックリストにおける準拠ルールを満たす	必須	◎	
1-1	HTTP通信(IPv4、HTTP1.1)を行えること (CS-R020001、CS-R020002)	必須	◎	
1-2	SOAP通信(SOAP1.1、document/literal、WS-I「シグナチャ」ロファイル1.0)を行えること (CS-R020003、CS-R020004)	必須	◎	
1-3	標準仕様書で定義するXMLインスタンスの形式に対応できること (CS-R032001)	必須	◎	
1-4	標準仕様書で定義するサービスインタフェース定義に対応できること (CS-R032003)	必須	◎	
1-5	PF通信標準仕様のメッセージ交換パターン1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること。(CS-R060002、CS-R060005、CS-R060009)	必須	◎	

2	アーキテクチャ標準仕様4.5.4節「統合DB機能」における、公開用DB方式の機能要件を満たす	必須	◎	
2-1	利用I/Fとして、1つ以上の業務ユニットインタフェース標準(V2.0)を実装していること (AS-R045403)	必須	◎	
2-2	利用I/Fとして、SQLによるインタフェースを提供していること (AS-R045404)	選択	◎	
2-3	提供側業務ユニットに対し、統合DBのDB更新機能(PUSH型データ提供機能)としてSOAPまたはSQLのインタフェースを提供していること (AS-R045405)	必須	◎	
2-4	統合DBと業務ユニットの間で交換されるデータの文字コードとしてPF標準(UTF-8または16)を使用できること (AS-R045407)	選択	◎	
2-5	外字を扱えること (AS-R045408)	必須	◎	

備考欄(前提事項や制限事項)